

事故で我が子を亡くした苦悩

誤飲や転倒など不慮の事故で子どもを亡くした親の相談に乗るため、NPO法人「とうきょう・はっぴーくらぶ」(東京)が電話相談を始めた。看護師らが相談に応じる。

相談電話の番号は080・

8853・8363。毎週金

曜日の午後1〜5時に受け付ける。相談時間は原則として1人最大1時間。無料。研修を受けた看護師と保育士が話を聞く。より専門的なアドバイスが必要な場合はそれぞれの分野の専門家を紹介する。

8月にスタートし、毎回1、2件の相談があるという。

この電話相談の設置を呼びかけたのは、横浜市の小児科医、山中龍宏さん。子どもの事故予防に取り組んできたことから、不慮の事故で子を亡くした親から何回か相談を受けたという。いずれも面識のない人からだった。

自宅駐車場で車をバックさせ、我が子をひいてしまったという母親は「どこか話を聞いてくれるところはないか。同じような境遇の人を知らないか」と思い詰めた様子で話した。

山中さんは「不慮の事故で子どもを亡くした親への支援は皆無と言ってよい。親は誰にも相談できず、ただ自分が悪かったと思いつめるだけ」

NPO 電話相談



「とうきょう・はっぴーくらぶ」は電話相談を始めるにあたりシンポジウムを開き、子を事故で亡くした親の支援の大切さを訴えた(7月、東京都渋谷区で)

という。

名乗らず、話したいことを吐き出せる電話相談が必要と考え、3年前、現代表の太田颯衣さんからボランティア活動家に電話相談事業を提案した。相談を受ける人を育成し、

相談事業がスタートした。太田さんは「悲しみと向き合っ て感情や思いを整理することで、遺族が前向きに生きていくためのきっかけを探す手助けをしたい」と話す。事故原因が製品にあると疑われる場合、山中さんは国や業界団体に製品の改善を求めていく方針だという。

40代、家事手伝いの女性。9年前に夫と死別し、今は実家暮らしです。子どもはいません。

いをしたりしています。でも、こちらもなかなか思うような条件の男性が見つからず、落ち込んでいます。

就職活動を始めて4年目になりましたが、なかなかいい仕事が見つかりません。求人広告を見たりハローワークに通ったりしても、内定をもらえることはほとんどありません。うまく職に就けても、仕事の内容や職場での人間関係が合わなくて、すぐに辞めてしまいます。

夫と死別、就職・再婚不調

実家では母と、2歳下で独身の妹と暮らしています。最近実家に居づらくて、一日も早く家を出たいという気持ちになってしまいました。そのために無理してでも再婚したい、できれば就職もしたいと考えています。わがままかもしれませんが、どうすればうまくいくでしょうか。毎日情緒不安定で、自殺も考えます。(千葉・Y子)

最近結婚パーティーに参加したり、結婚相談所に入ってお見合

人生案内

海原 純子
(心療内科医)

結婚したい、実家に居づらいうまく辞めてしまおうと、あなたご自身が考えるほど、あなたは「社会の中の自分」がいないつらさ、変なものです。みつけた仕事を大事にし、自分で納得